



平成19年3月号  
「西山の座禅草」



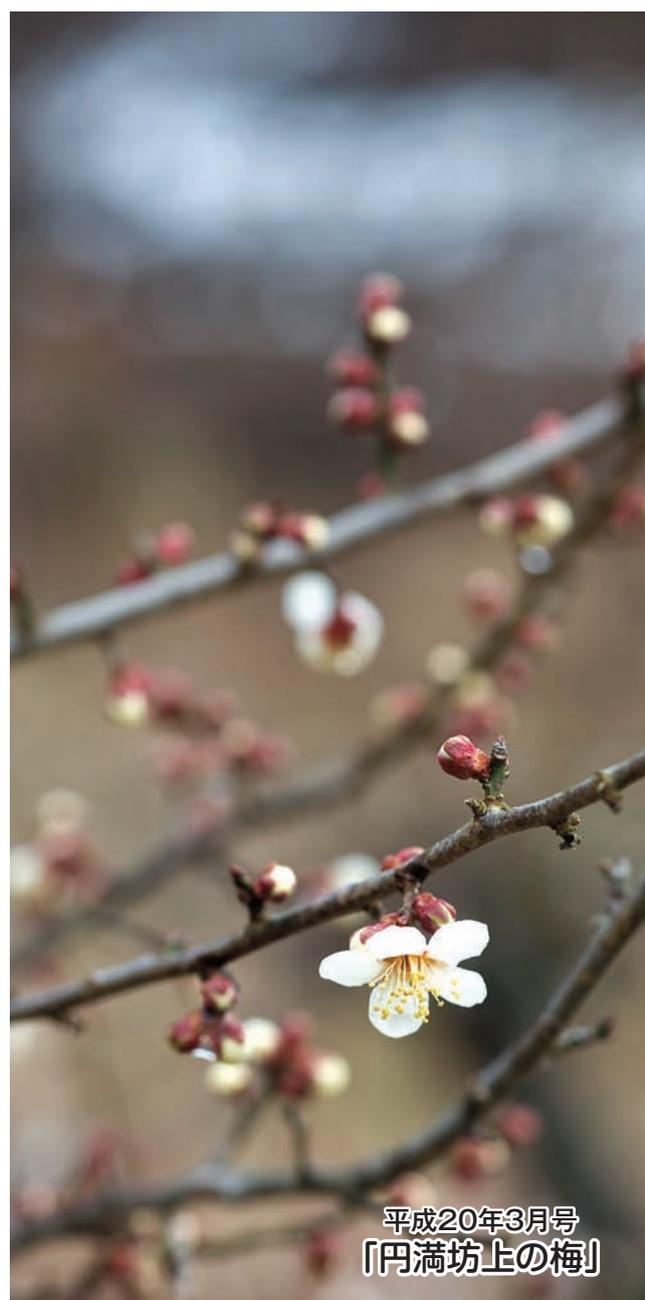
平成20年4月号  
「御射山神社のしだれ桜」

# 館報 まつかわ

松川町公民館報  
第653号  
平成30年3月15日



平成19年4月号  
「七椏神社春季祭典 おかめ踊り」



平成20年3月号  
「円満坊上の梅」

# に 応 える 公 民 館

## 第55回 公民館研究集会

2月25日  
えみりあホール

### つどう・まなぶ・むすぶ。 そして「つなぐ公民館」

事例発表とワールドカフェに先立ち、小木曾社会教育主事から、公民館の「これまで」と「これから」をテーマに、話題提供があった。

1960年代からの生活課題・地域課題に対し小集団グループの学習を行い集会活動に展開してきたこと、それらの課題に対し1985年代頃からは専門機関での学習活動

へ移行してきたこと、生涯学習時代到来の1990年代以降は「趣味の追求」や「生き甲斐を求める活動」への傾向が強くなってきたこと等、時代背景とともに学習活動が変わってきた様子を話した。

これに対し中央公民館は、現状の事業を「町民が行う学習のサポート役」「学習の成果をつなげる役」「様々な組織・団体・人を「つなぐ役」の3つを柱に据え、常に意識することが大切であると唱えた。

地区公民館についても触れ、「各種団体・組織・人とつながりを持つ」と、本館には「多くの方々と関わる中で、新たな事業を創造しよう」と語った。最後に、「仲間と一緒に生み出すことの面白さを感じてもらいたい」とまとめた。



討論の様子

地区公民館の活動報告の中から特色ある活動を紹介します

#### 部奈地区公民館

#### ペーパークラフト講座

夏休み中に子ども達が楽しく学べる場としてペーパークラフト講座をやるようになり、今年で3年目になる。はさみを使うこともだんだん少なくなっている子ども達だが、扱いやすい紙で恐竜という大きな作品を仕上げ、作った子どもたちはそれを宝物として飾っている。



#### 生東地区公民館

#### 公民館映画会とジビエ料理

ふるさとをテーマにした映画会を皆で見えて目を熱くし、「ふるさとへの想い」を再発見する機会となった。また有害鳥獣である鹿肉を使ったフルコースの料理を楽しみ、ジビエの活用や新しい料理方法を教えて頂きながら、コミュニケーションを広げることができた。



#### 上新井地区公民館

#### ファミリーデイキャンプ

子ども会育成会との共催でファミリーデイキャンプを行った。およりの森の散策や魚のつかみ取り、青年の家のキャンプ場で飯盒炊きをするなど自然と触れ合う体験をした。家族、友達、地域の方々とのコミュニケーションが図れ、大人も子どもも楽しめるので、参加者が年々増えている。



#### 古町地区公民館

#### 護身術体験

治安の悪化等をたびたび耳にする昨今、有事の際に役立つ事業として松川町交番の保科所長を講師に迎え護身術体験を行った。当日は多くの参加者があり、刺股さすまたの使い方や腕や胸蔵をつかまれた時の相手の腕の外し方を積極的に繰り返し練習し、コツをつかむことができた。



# 時代にマッチ ニーズ



事例発表後、16のグループに分かれ、ワールドカフェが行われた。編集部では、出された意見を次のようにまとめた。

## なやむ公民館

- ①生活の多様性によるプライベートで楽しめることが増えている。(地域で集まることの意義とは?)
- ②参加者が少なくして事業を実行するのも厳しくなっている。何をしたらいいのだろう。
- ③「うちはいいで」と断る人に限って「やめちゃだめ」と言う。
- ④少子高齢化による限界。(公民館役員の人選が難しい)

## 「公民館だからできる」活動があるはず

### 子どもたちに地域の事業の経験を

- ①子どもが多いときは、イベントがたくさんあった。親も楽しめていたと思う。
- ②子どものころから地域に出ることに慣れた。
- ③事業に子どもをいかに巻き込むか。

- ④小さい子が思い出に残るような活動を展開することがよい。
- ⑤子どもたちに地域で行う地域の事業を経験させておくと楽しくてまたやりたいと思うし、松川へ帰ってきたと思う。
- ⑥デイキャンプは楽しく、友達を誘いあうので参加者が増えてきた。子どもも楽しんで親も楽しい。公民館と育成会が協力している。
- ⑦地域を知ることが出来るイベントがいい。歴史に学んだり地域名所めぐりは地元愛を育てる。

## 大事にしたい伝統的行事

- ①大きなお祭り(さんさんまつり)で町のまとまりがあった。
- ②盆踊りは、役員は大変だが、良い事業だと思う。

③伝統的なことに関わる機会がある。上大島の節分の鬼がすごい。公民館部員がやっている。30年も前から継続できるのか。



ジビエ料理

## 公民館は世代を超えて

- ①子どもからお年寄りのかかわりのある事業を目指し、囲碁ボールを導入。「孫が行くから」といって高齢者の皆さんが参加してくれた。
- ②ニュースポーツの方がみんな楽しめる。
- ③老若男女のつどい合いで愛郷心を養うことができるのでは。

## 地域活動の意義

- ①部奈地区公民館の事例から地域に根ざす姿をみた。生東地区公民館の事例は、そこだからこそできる価値があると思う。
- ②公民館が行うあそびや楽しみの体験の中に学びがある。それが生涯学習だと思う。
- ③地区公民館のなごやかさに地域活動の意義をみる。子どもから高齢者までの人間関係づくりが大事だと思う。





感想発表

新たな発想を  
生み出そう

新しい取り組みは  
本館へ相談

①新しい事業を起こしたいときには、本館へ相談に行ける。

②違う市町村の公民館活動で参考になりそうなことがあってもいい。本館を通じて交流会をやってもよいのではないか。

新たなアイデアには  
女性の声も必要

①女性部員が増えれば活気が出てくる。アイデア等もどんどん出てくる。

②女性の目線で見ると活動をした方がよい。男性女性両方の目線を取り入れることが大事。

新しい小グループに着目

①同じ趣味の愛好者でも世代の違いや経験の差で同一グループにまとまるのが難しい。世代ごとでまとまっているグループとのつながりを大切に考えたい。

②保育園でのママ友とのつながりを持つこともありだと思おう。気の合った小さなグループは長続きするし大事である。

編集部として

今回の研究集会を終えて編集部としては、今回のテーマ「時代にマッチ、ニーズに合わせる」のように、現状の館報のままではいけないと思う。例えば、町民のまとまり・多世代交流を促進するために、地区公民館のイベント情報や参加者の声を、もっと地域に発信する必要があると感じる。

今回のワールドカフェは意見を言いやすい、素晴らしい場になった。ただし、出た意見の中から少しでも課題を解決しないといけない。編集部として少しでも課題解決に協力していきたいと思う。

平成29年度  
**公民館  
功労者表彰**  
2月25日(日)に開催された「第55回公民館研究集会」において中央公民館、各地区公民館の活動にご尽力された13人が表彰されました。



佐藤俊宏さん  
(中央公民館)



塚本聡さん  
(中央公民館)



坂本美帆さん  
(中央公民館)



大島真也さん  
(名子地区公民館)



宮澤嘉章さん  
(名子地区公民館)



福島賢治さん  
(上新井地区公民館)



山田裕一さん  
(上新井地区公民館)



壬生到さん  
(大島地区協議会)



北村大輔さん  
(上大島地区公民館)



西尾宏徳さん  
(上大島地区公民館)



林俊秀さん  
(上大島地区公民館)



松下真悟さん  
(古町地区公民館)



下沢勇氣さん  
(名子地区公民館)



講師の江江川紹子さん。  
ゆるいカールのやわらかいイ  
メージが春っぽいです。

# 私の取材ノートから

まつかわ大学 第4講座  
平成30年2月10日(土)



テレビやラジオのコメントターなどで活躍中の江川紹子さんが、まつかわ大学の講師として講演されました。身近な話題から大事件まで。多くの皆さんが熱心に聴講されました。

## 皇室初の恋愛結婚

眞子様と小室さんの結婚が延びたこと。それに対してマスコミは、よくもまあ…というほどイロイロ暴きたてる。結婚が延びたのは、現天皇の退位と新天皇の即位があるため。日本のメディアも商業主義にのっかるのではなく、長い目でみることも必要ではないか。

## 大きな子どものケンカ？

毎日この2人の顔を見ない日は無い！といえるほどの露出度の高さ。トランプ大統領と金正恩最高指導者。自分の言う事をきかない友達にさっさと切り捨てる。次から次へ約束をやぶり平気である。こんな2人の子どものケンカみたいなやりとりが続いて、勢いで実行してしまったらどうする？心配…。

心配はきりが  
ないが、世界の  
国々の大きな協  
力も必要だろう。

## カルトの恐れ

オウム真理教事件。忘れられない事件。裁判は決着したが「カルト」の特徴が色濃く出ていた事件である。まず物を単純化し善と悪に分ける。自分達の考えは善。その他は悪。とつても分かりやすいのだ。「だれも私の事をわかってくれない」と考える若者はすぐ傾倒してしまいます。敵か味方か、シンプルな説明や話し方は相手にとって強くひびく。

2元論は現代社会でも充分通じていて、異分子の排除がいつも簡単に行われていそうである。しかしそれは大変に危険な事。それを避けるための3原則。

- ・ 情報の出所を確かめる
  - ・ 2元論に傾かない
  - ・ 長いスパンで物事をみる
- わからなくても良い。結論を急がず思慮深く生きてみてはどうか？



## ふるさとを詠む

松川北小学校

道徳の時間に「郷土を愛する心」について学習したので、みんなが、松川町のすばらしところを短歌に詠んでみました。

4年 湯澤 彩花

しんごきゆう  
空気がおいしい  
やる気出る  
きれいさつぱり  
気持ちがいいな

4年 上村絵美夏

まつすがた  
きれいににおどる  
ほたるたち  
みんなで見ると  
夜の学校で

4年 大場由日里

ふるさとの  
山や公園  
楽しくて  
むかしのことを  
思い出してくる

4年 大野 七雲

ふるさとの  
りんごの味は  
おいしくて  
何こもいける  
あますつばいよ

4年 大蔵 海翔

ふるさとの  
ももなしりんご  
山々は  
人々みんな  
楽しませて



## 俳句

矢沢さち子 (東浦)

初詣灯りの先に祖父の句碑  
冬灯し手話の夫婦の睦まじく  
落味嚙を母のお粥に添えにけり  
面影へうす墨を摺る寒の朝  
水温む川の速さに笹の舟



# 松川町今昔

◆第21回◆  
「資料館だより」  
「踊り狂言とその規制」

## 第5回の「人々の楽しみ」

の中で祭りのことを書きました。祭りは大んだん華美になり、大島三か村（名子村・古町村・上新井村）で規制するための約束をしたことを取り上げました。

生田の長峰柄山・中山に残る古文書の中に、踊りや狂言（村芝居）を規制する約束の文書があります。

文政13年（1830）当時幕府領で福与村から分かれた中山分や長峰柄山分の百姓たちに、神事祭礼の踊り・狂言についての問い合わせが幕府代官からありました。これに対して、福与村と言つて一つの村であった時は、繰（く）り・人形芝居 をやつていたが、中山分・長峰柄山分と分

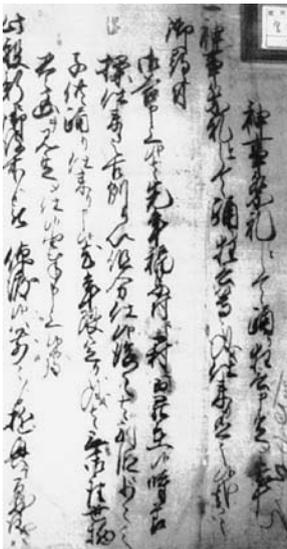
かれてからは、子ども踊りを少しやつていまずと答えています。それもその年の作柄を見てやつていると答えています。

江戸幕府は文政期の改革の中で、風俗取締りを強化してました。役所から新たに申し渡されたことは、「前々から遊興のようなものはいらないようにと申し渡してきたが、近ごろ神事祭礼として踊り狂言をやっている所がある。このような祭礼は行わないように」ということです。村を支配している武士たちが考えている

ことは、祭りを利用して娯楽が広がると、無駄な消費があつたり人々の心の持ち方も乱れてきたりして、年貢などをきちんと納めない者も増加してくるということです。この古文書を読み進めると、「たとえ例年やつている踊りでも、断りなくやらないこと。」と書かれています。ちよつと考える

え、親たちが納得して村役人に届け出て、それから村中で相談すること。それで納得したなら、村役人は役所へ届け出て、指示を受けること。」と言っています。そして普段から親は若者たちにそうした踊りはやらないように言い聞かせておくようにとも言っています。もし知らせずにやろうとしたら留めること、それでもだめなら役所へ訴え出ることというのです。村ではこれらの指示を受けとめて、約束しますと書類を作成して提出したのです。

文面通り読めばその通りですが、若者たちのやりたい気持ちはどこでもあるものです。村民にとつても少ない楽しみの一つなのです。ですから「無二沙汰」でなく届け出ればよいと考え、みんなで署名連印して出したと思います。村役人も間に入って何とかまとめたのでしょう。支配している者たちも罰を科そうとは考えていない様で、秩序の乱れを心配しつつも、内々は認めているように思います。



代官問合せへの返答

と、ちゃんと届出をすればやつてもよいとも読めます。さらに「こうした踊りを行う若者たちが親たちに伝



## 中央小学校 1年2組

### しみずたいち

きょう、せなぐんと、えぬりあにいききました。がいこくじんと、がいこくのはんをつくりました。がいこくのしといつなまえのソースがあつたから、たべてみました。さいは、からかつたです。さいごに、きょういくちようが、らくごをはなしてくれました。おもしろかつたです。一ばんおもしろかつたのは、80さいくらいのおばちゃんが、三すの川をおよいでむこうにわたつて、ターンをして、いきかえつて、一さいからやりなおすのが、おもしろかつたです。また、ちがうことをききたいです。

### かやまななみ

きょう、どんとやきで、ちくのいつしよのおともだちといつしよに、あそびました。おにいちゃんとも、あそびました。ちよつとはなれて、たんけんしたりしました。いろいろなことをしました。すべにもえてしまいました。さいごに、おもちゃをよみました。

### しみさわはると

きのうは、かいしよで、たつきゆうをやりました。ゆいと、ばーばと、じーじといきました。ゆいには、かちました。が、じーじとばーばには、かてませんでした。またやりたいです。

### 1年3組

### 櫛原とらのすけ

きのう、せいりゆうえんへいきました。ほくのおとうととおとうさんといつしよにはいりました。おとうとは、あかちゃんを、たいへんだけどよろこんでいました。たのしかったです。またいきたいです。

### 本田 まい

きょう、どんとやきのじゅんびがありました。一ねんせいから六ねんせいには、わつこをつくつて、おとなたちは、かさにかさりをつけました。ごごに、おたのしみかいがありました。さいしよは、ピンゴをやりました。けいひんは、スライムちゆうしやでした。2かいは、トランプをやりました。ババッキで、わたしは、3ぬけをしました。たのしかったです。



しかったです。

松川町資料館

伊坪 達郎



小原ぞうた

日よう日に、こおりわりを  
しました。いえのいけすのこ  
おりをわりました。あさがさ  
むくて、あついこおりがはつ  
ていました。こおりがかたかっ  
たからシャベルをつかいまし  
た。おとうと二人でやった  
ので、たのしかつたです。

兼子るな

月よう日、たごあげをし  
ました。おとうさんとやりまし  
た。むずかしかつたです。わ  
たしがやってもとばなかつた  
けど、おとうさんがやったら  
たかくとびました。わたしも  
じょうずにとばせるようにな  
りたいです。

小林ゆうな

きょうは、7じはんにごん  
どやきにいききました。おと  
ちもきていました。おもち  
とみかんをやきました。おつ  
ちでやくより、サウサウもち  
ちでした。とてもたのしかつ  
たです。

宮崎りゆうのすけ

きょう、ほくとママといも  
うとといっしょにかるたをや  
りました。ダジャレかるたで

す。かるたを2かいやりまし  
た。いもうとは、さいしよは  
せんぜんとれなかつたけど、  
いまでは、すばやくとれるよ  
うになつたから、ほくといい  
しょうぶになりました。

松澤ことみ

きょう、おばあちゃんのお  
むかえにいききました。そのか  
えりに、セブンイレブンで、  
点つなぎの本をかってもらい  
ました。すう字をせんでつな  
ぐと、えがでできます。わた  
しは、1から45までのすうじ  
をつないでみました。ことみ  
の美がでできました。じぶん  
のかん字ができてビックリ  
しました。

訂正とお詫び  
第62号の7面こどもの日記の欄  
にある「ふくざわゆづき」さんは、  
正しくは「ふくざわゆづき」さ  
んです。訂正しお詫び申し上げ  
ます。

## スポーツ

### 第7回松川町団体 バドミントン大会

第7回松川町団体バドミン  
トン大会が1月28日(日)松川  
町町民体育館で行われました。

## ハーフマラソン通信

「第4回 南信州まつかわハーフマラソン大会」の開催日が  
9月9日(日)に決まり、3月1日から参加者の募集  
が始まりました。

第4回 南信州まつかわ  
ハーフマラソン大会  
2018.9.9.sun. 8:30 START  
MATSUKAWA-TOWN

3月より募集スタート!

アルプスからの風を受け  
駆け抜ける!まつかわ!

松川町は、中央アルプスと南アルプスに挟まれた伊那谷の中央に位置しています。  
りんご畑から 稲穂のゆれる河原まで、高低差 250m の河岸段丘を走るアップダ  
ウンコース。アルプスの眺望と美味しいくだものがあるあなたの挑戦を応援します!

主催：長野県松川町・松川町教育委員会  
主幹：南信州まつかわハーフマラソン大会実行委員会 ☎0265-48-6713 スポ-ツKULI BIC

### 第45回松川町 地区対抗弓道大会

地区対抗冬季弓道大会が2  
月12日(月)に行われました。

#### 団体戦

- |     |          |
|-----|----------|
| 優勝  | 上新井チーム   |
| 福澤  | 隆夫・岩村 和夫 |
| 大藏  | 壽春       |
| 準優勝 | 名子チーム    |
| 小沢  | 誠・伊藤 久人  |
| 笠原  | 武明       |

#### 個人戦

- |     |       |
|-----|-------|
| 第3位 | 南島 健  |
| 優勝  | 福澤 隆夫 |
| 準優勝 | 大澤健太郎 |
| 第3位 | 岩村 和夫 |
| 第4位 | 大藏 壽春 |
| 第5位 | 笠原 武明 |
| 射詰賞 | 高坂 政憲 |

### 上新井男女卓球大会

上新井男女卓球大会が2月  
11日(日)に町民体育館で行  
われました。

男子12チーム、女子5チ  
ムが参加しました。

- |     |       |
|-----|-------|
| 優勝  | 本町    |
| 準優勝 | 新井南部B |
| 第3位 | 広小路   |
| 女子  |       |
| 優勝  | 新井北部  |
| 準優勝 | 松川    |
| 第3位 | 馬坂    |





# 「ミニバスケットボール女子」



毎週日・火・金曜日、中央小学校もしくは町民体育館で活動しています。  
 現在1~6年生22名が在籍、クラブ員募集中です。  
 見学だけでもOK！雰囲気を感じにお越しください、お待ちしております！



毎年恒例となる生田地区芸能文化祭が2月4日(日)に盛大に行なわれました。当日迄心配された大雪の予報も、役員の皆さんの熱き心が伝わったのか、日本晴れの後押しを頂き、寒さ厳しい中スタッフのやる気がみななを心一つにスタートしました。  
 来賓に町長さんはじめ町の関係の方々におし頂き、展示の部では、写真、手芸、押し花、書道等々力作がそろい又、今年は町と親交ある中米コスタリカの展示が目を引き

## 声

# 生田地区芸能文化祭 盛大に実施される

入口には、松川スポーツライミングクラブによる子ども用にやさしいクライミング壁を作り、大勢がこわごわよじ登り、親子で楽しいひとときを過ごす、スリリングな空間を作って頂きました。

午後よりは開会式に続き、太鼓一芸楽人さんの太鼓の轟きと共に演芸の部が開演、保育園児のダンスや大人のフラダンス、大正琴、カラオケ、侍に扮する踊りと続き、地元演歌歌手五十嵐まり子さんの新曲も披露され、熱気と共に雰囲気も最高潮に達しトリには、「待つてました。」の掛け声と共にザ・スクーターズによるベンチャーズのバンド演奏に、若き良き昭和を思い出し感激となつかしさに浸る事ができました。

かたわら、おでん、豚汁、フランクフルト、五平餅、手づくりパンに専門店の珈琲等々、お酒とビール販売が加わり盛り上がりは頂点へ。まさにそこは、生田大宴会場へと様変わり。ここでも注目は、コスタリ



大勢の皆さんが来てくださり大盛況の中、福澤貞和生田地区区会長による万歳三唱と共に幕を閉じました。  
 役員、婦人部又出店をして頂いた皆さんの惜しみない尽力にこの書面を持って心より感謝申し上げます。

この活動が生田地区の一層の活性化の一助となる事を念願致します。  
 生田地区協議会主事  
 矢野 義範



## 2020年

この冬は例年以上に通勤が大変でした。去年から通勤場所が変わり飯田I・Cより上への通勤、雪が降ると別世界です。  
 恐る恐る運転し渋滞のなかやっと到着しても安心していられないのです。駐車場から凍った歩道橋を渡っていかねければいけないため滑り落ちそうになることも…。雪の予報でなくても、日中窓の外を見ると吹雪いていることもしばしば。帰りも雪が積もってれば大量の雪を下ろしてから、雪が降っていないので、帰りが遅くなると窓ガラスが凍りついていて、これがなかなか溶けず寒い車の中で溶けるまで待つこともたびたびでした。

『南の島のハメハメハ大王』の唄のように雪が降ったらお休みたい気分でした。  
 春に近づいてきましたが、私の勤務地は何が起るかかわからない：油断しないようにしてはと思っています。

宮崎亜希子

公民館報  
**「まつかわ」**  
 第 653 号  
 平成30年3月15日  
 発行所 松川町公民館 誠  
 責任者 小 沢 誠  
 編集人 公民館編集部  
 Tel 36-2622  
 e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp  
 飯田市上郷黒田121  
 印刷所 龍共印刷(株)  
 再生紙を使用しています。